

2022年度第1四半期 決算ハイライト

2022年8月2日

世界が進むチカラになる。



■ キーメッセージ

- 2022年度第1四半期の業務純益は4,251億円（前同比+1,417億円増益）、
通期目標13,000億円に対する進捗率は33%。成長戦略に沿った取組みが着実に進捗、
顧客部門の営業純益は前同比+830億円増益
- MUB株式譲渡決定に伴う会計処理に関連した損失▲2,544億円を計上し、親会社株主
四半期純利益は1,136億円と前同比大幅減益。ただし、当該損失のうちMUB株式譲渡時
に特別利益として戻入になる1,579億円*¹を勘案すると、親会社株主四半期純利益は
2,715億円（進捗率27%）と業績目標に向けてオンライン
- 2022年3月末以降の金利上昇に伴い、上期決算に計上されるMUB保有債券等の損失額
は拡大見込みも、ヘッジにより損失拡大を抑制、通期決算に与える影響（税効果勘案後約
▲2,000億円）は業績目標に織込み済みであり、親会社株主純利益目標1兆円は不変

*1 詳細は12ページをご参照

* 本資料における計数・表記の定義は最終ページに掲載

連結P/L

(億円)	21年1Q	22年1Q	増減
1 業務粗利益 (信託勘定償却前)	9,571	11,248	1,676
2 資金利益	4,969	9,868	4,899
3 信託報酬 + 役務取引等利益	3,653	3,691	38
4 特定取引利益 + その他業務利益	948	▲ 2,312	▲ 3,260
5 うち国債等債券関係損益	387	▲ 4,061	▲ 4,448
6 営業費 (▲)	6,736	6,996	259
7 業務純益	2,834	4,251	1,417
8 与信関係費用総額	▲ 51	▲ 739	▲ 688
9 株式等関係損益	660	190	▲ 470
10 株式等売却損益	692	654	▲ 37
11 株式等償却	▲ 31	▲ 464	▲ 433
12 持分法による投資損益	1,194	1,230	35
13 その他の臨時損益	▲ 35	▲ 2,303	▲ 2,267
14 経常利益	4,603	2,629	▲ 1,973
15 特別損益	364	▲ 219	▲ 583
16 法人税等合計	▲ 937	▲ 1,071	▲ 133
17 親会社株主四半期純利益	3,830	1,136	▲ 2,693
18 1株当たり利益 (円)	29.84	9.03	▲ 20.80
(ご参考)			
19 ROE (MUFG定義)	10.85%	2.93%	▲ 7.91%
20 経費率	70.3%	62.1%	▲ 8.1%

1 業務粗利益

- 貸出利ざや改善や、米金利上昇局面における外貨預貸金収益増加により、資金利益が増収
- トレジャリーでは、投信解約益（資金利益）4,442億円を計上するとともに、デリバティブによるヘッジ益を勘案しながら、ポートフォリオ組換えによる国債等債券関係損益▲4,061億円を計上
- 結果、業務粗利益は前同比+1,676億円増加

2 営業費・経費率

- 営業費は為替影響*1除きで前同比減少
- 経費率は62.1%に低下

3 与信関係費用総額

- MUB株式の譲渡決定に伴う貸出金の時価変動等▲442億円の費用計上により与信関係費用は悪化

4 その他の臨時損益

- MUB株式の譲渡決定に伴う会計処理に関連した損失（MUB保有債券等の評価損等）▲2,102億円を計上

5 親会社株主四半期純利益

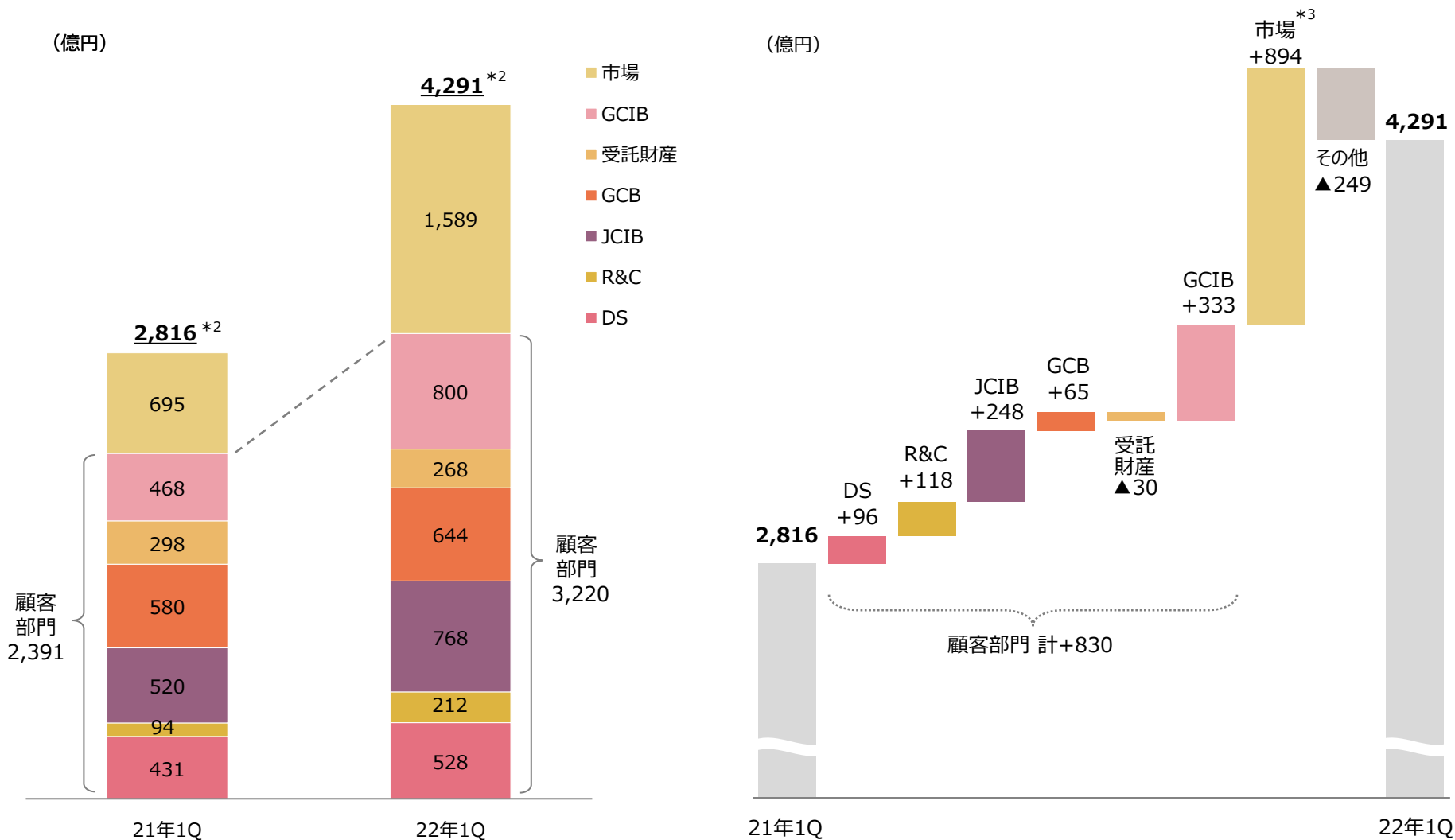
- 親会社株主四半期純利益は、前同比▲2,693億円減益の1,136億円となるも、MUB株式譲渡時に戻入になる1,579億円を勘案すると、業績目標に向けてオンライン

*1 為替影響額は約+360億円（概算値）

事業本部別業績①

【連結】

事業本部別営業純益*1



*1 社内管理上の連結業務純益 *2 本部・その他 (21年1Q ▲270、22年1Q ▲519) を含む

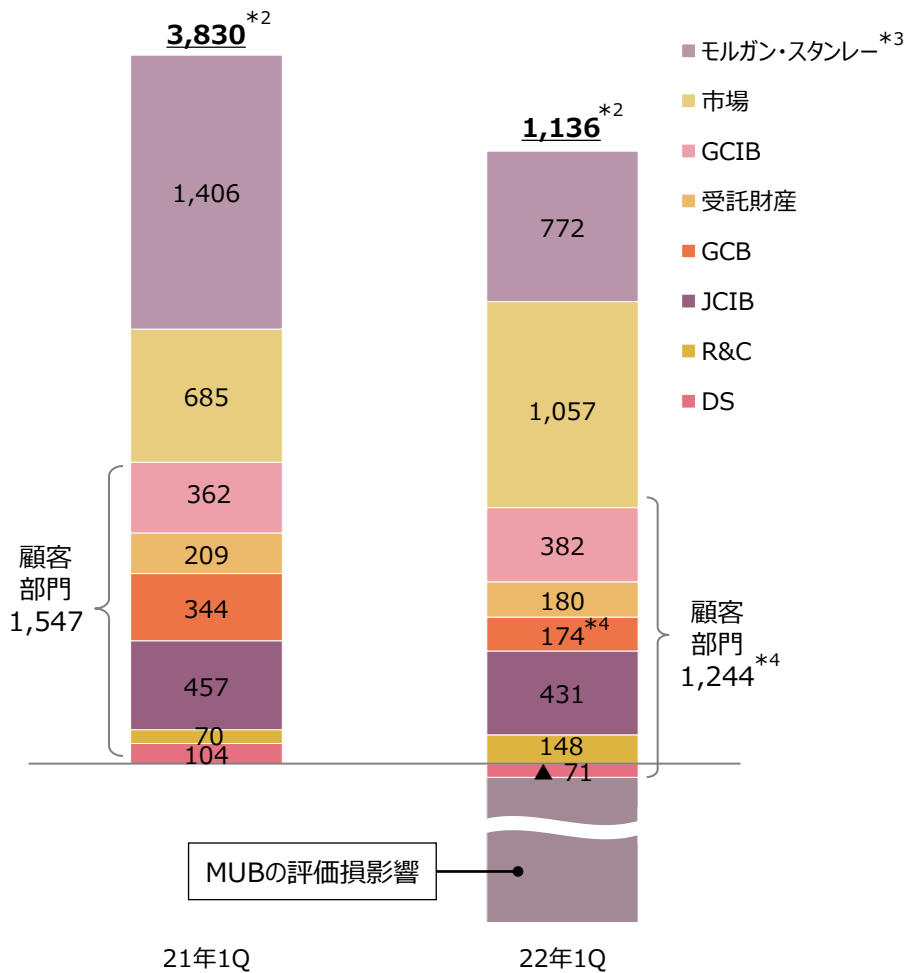
*3 市場事業本部は株式関連損益などの業務純益以下の勘定科目も含めて運営。これらの勘定科目による影響 (▲337億円) 勘案後では、+557億円

事業本部別業績②

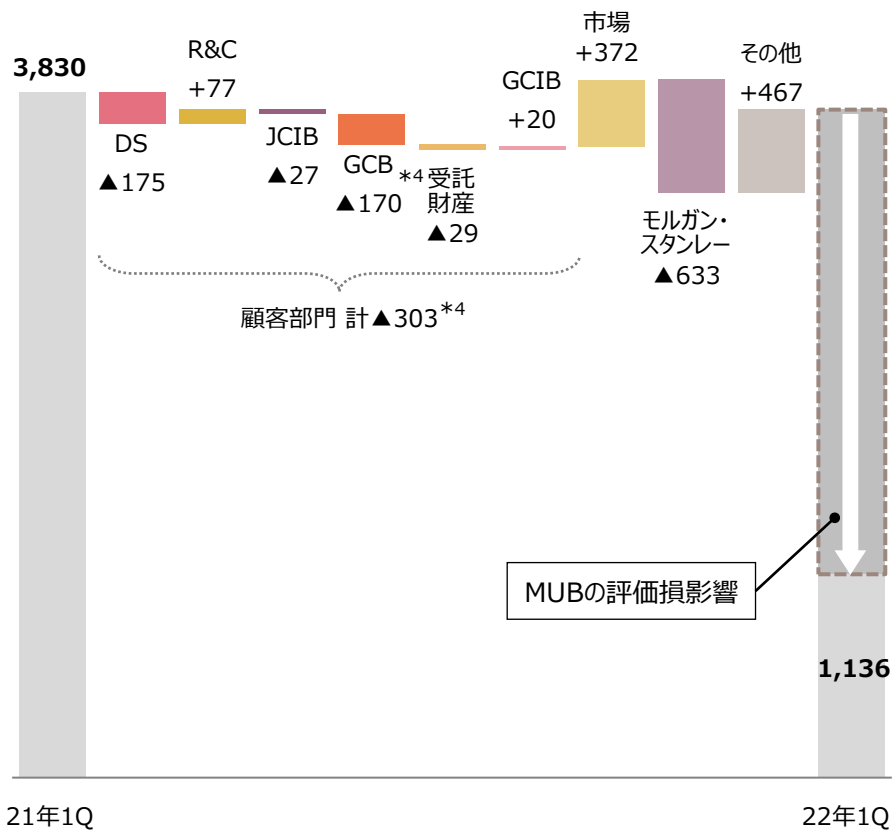
【連結】

事業本部別当期純利益*1

(億円)



(億円)

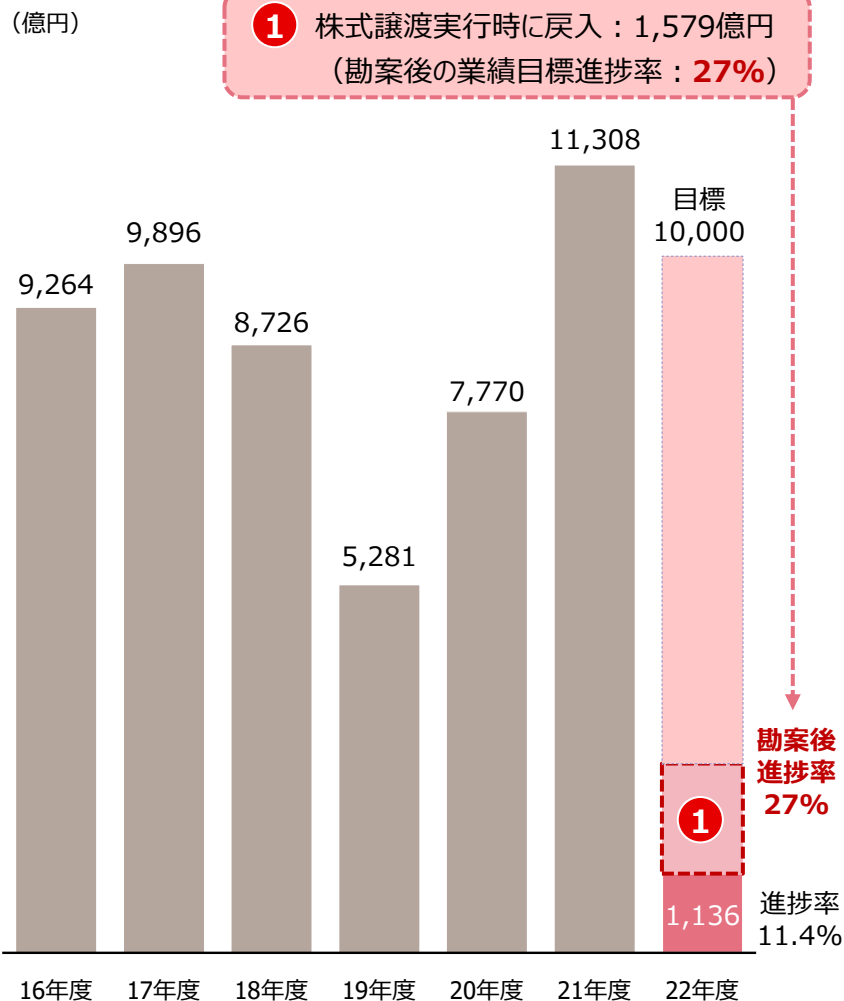


*1 事業本部計数は社内管理上の当期純利益（速報値）。現地通貨ベース *2 その他（21年1Q 193億円、22年1Q 660億円）を含む
 *3 持分変動損益（21年1Q 368億円、22年1Q ▲237億円）を含む *4 MUBの評価損影響を除く

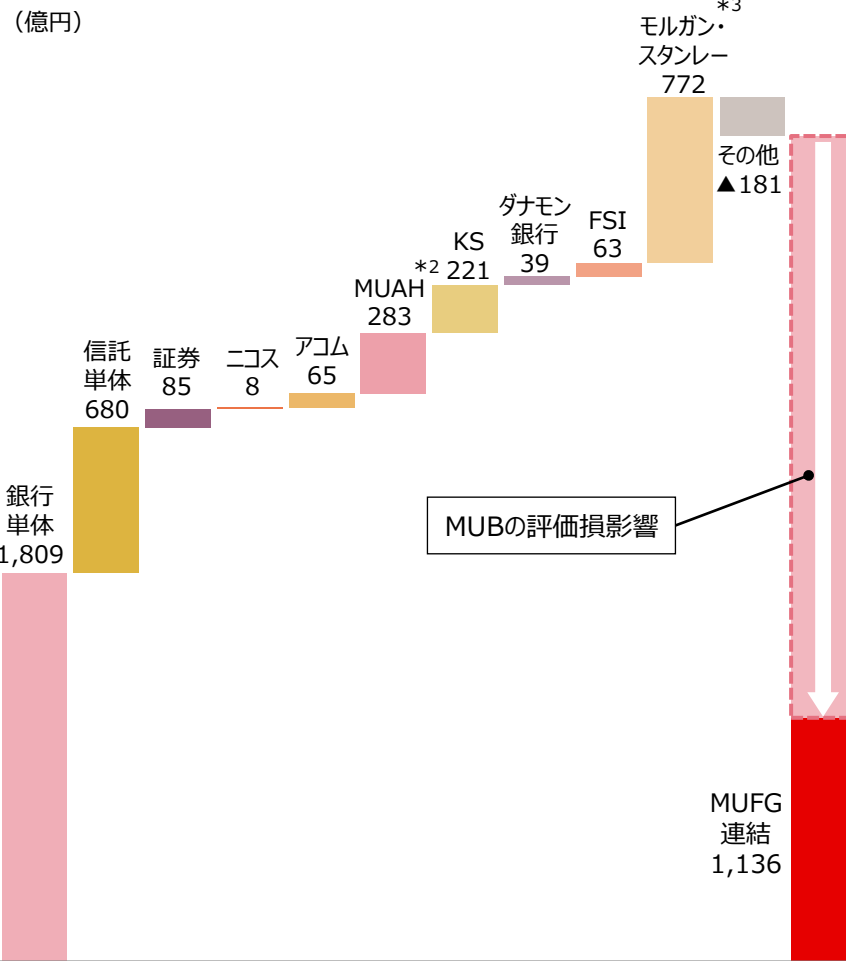
2022年度業績目標進捗率と業態別内訳

【連結】

親会社株主純利益の推移



親会社株主四半期純利益内訳*1

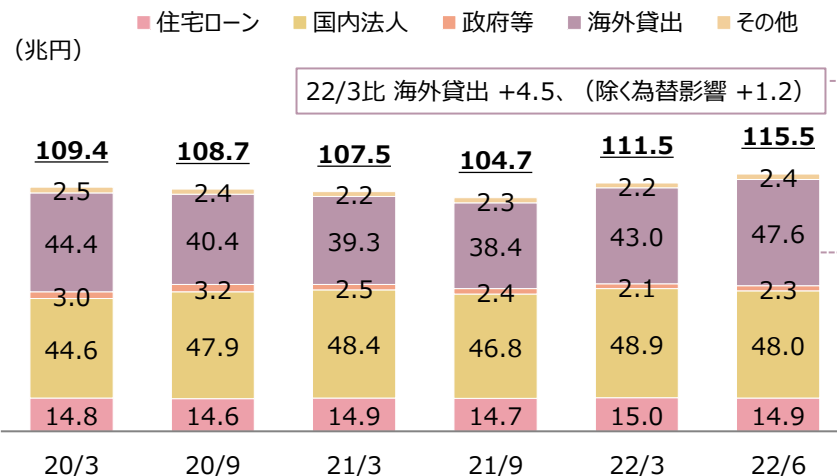


*1 持分比率勘案後の実績 *2 MUBの評価損影響を除く *3 持分変動損▲237億円を含む

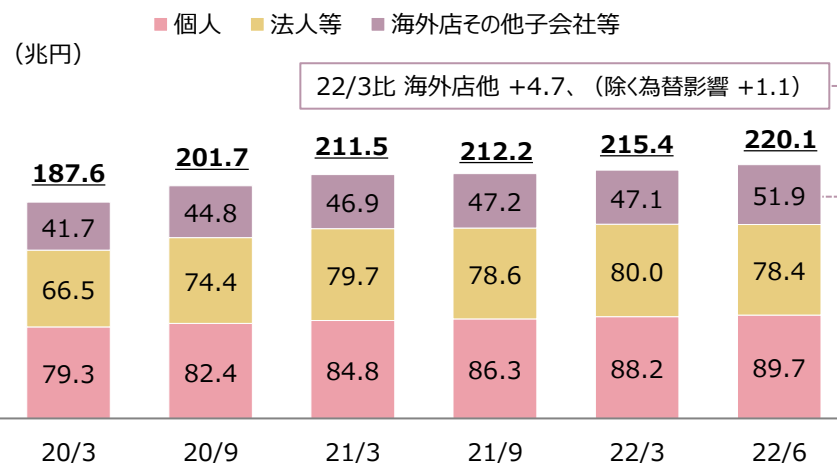
連結B/S

(億円)	22年6月末	22年3月末比
1 資産の部合計	3,869,092	131,772
2 貸出金（銀行勘定+信託勘定）	1,155,529	40,062
3 貸出金（銀行勘定）	1,144,897	40,635
4 うち住宅ローン*1	149,804	▲905
5 うち国内法人貸出*1*2	480,511	▲8,893
6 うち海外貸出*3	476,451	45,452
7 有価証券（銀行勘定）	824,529	28,923
8 うち国内株式	52,219	▲2,232
9 うち国債	365,711	34,112
10 うち外国債券	222,283	▲368
11 負債の部合計	3,692,763	135,327
12 預金	2,201,402	47,129
13 うち個人預金（国内店）*4	897,500	14,811
14 うち法人等預金*4	784,789	▲15,278
15 うち海外店その他子会社等預金	519,112	47,596
16 純資産の部合計	176,328	▲3,554
17 銀行法及び再生法に基づく債権*5	14,242	▲475
18 不良債権比率	1.10%	▲0.08%
19 その他有価証券評価損益	13,953	▲9,965

貸出金推移（末残）



預金推移（末残）



*1 2行合算+信託勘定 *2 政府等向け貸出除く、外貨建貸出を含む（除く為替影響：22年3月末比 ▲1.4兆円）

*3 海外支店+MUAH+KS+ダナモン銀行+MUFGバンク（中国）+MUFGバンク（マレーシア）+MUFGバンク（ヨーロッパ） *4 2行合算

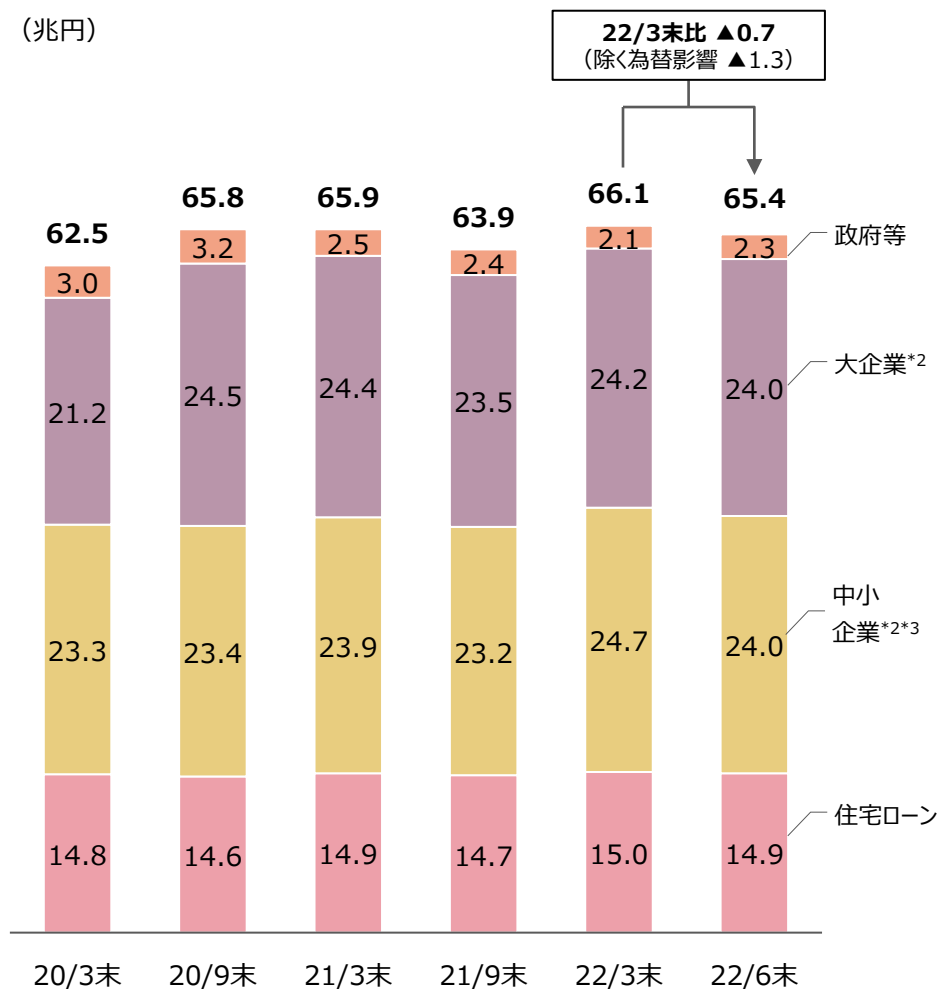
*5 正常債権を除く

国内貸出金

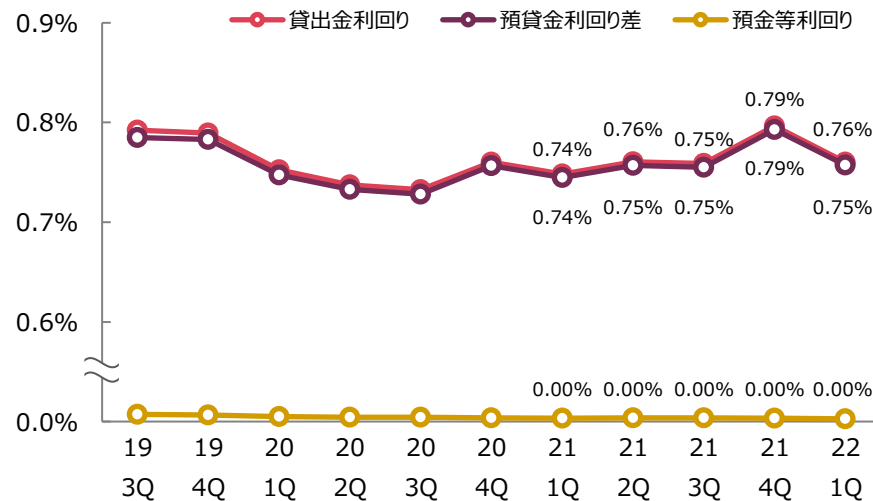
【連結・2行合算】

貸出金（未残）*1

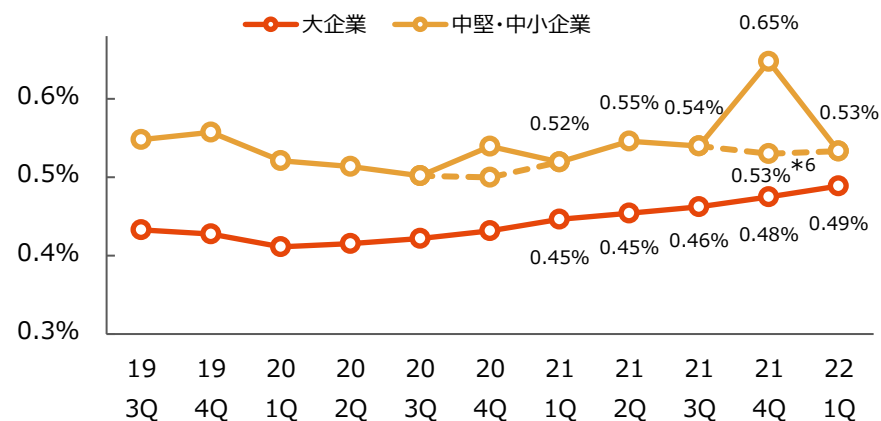
(兆円)



国内預貸金利回りの推移*4



国内法人貸出利ざや*2 *4 *5



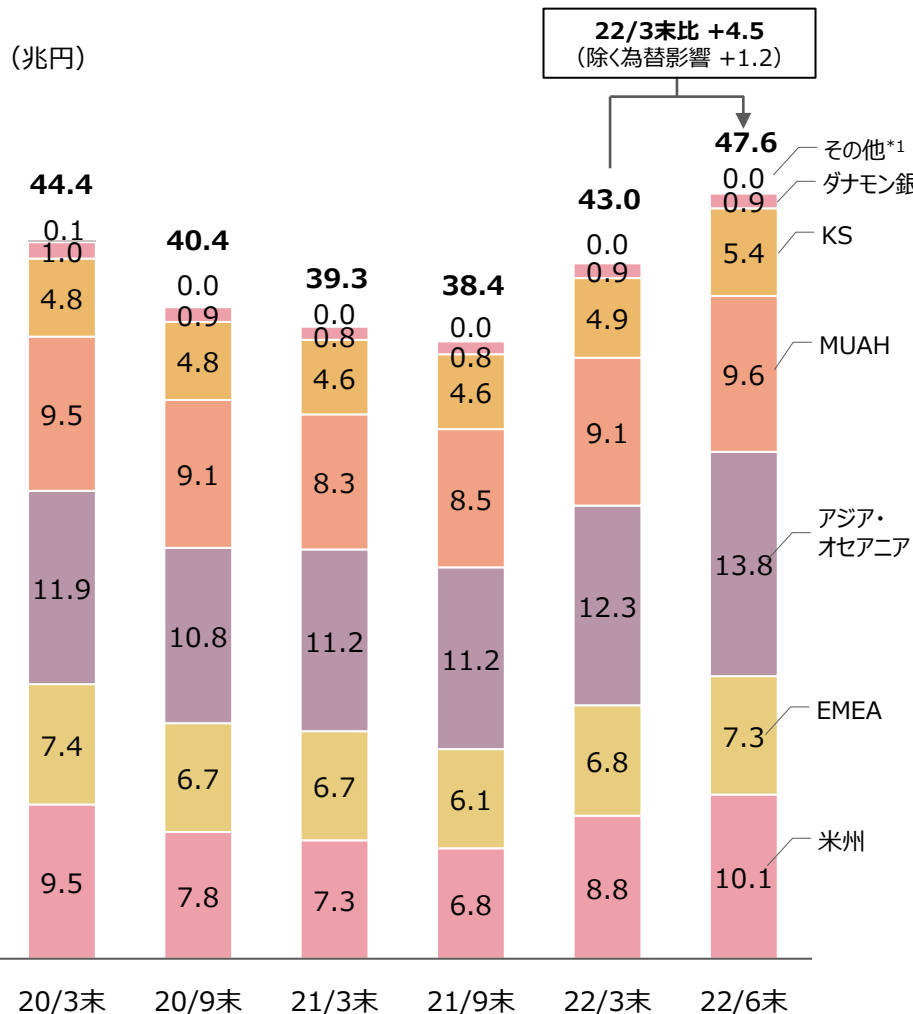
*1 銀行勘定+信託勘定 *2 外貨建貸出を含む *3 中小企業等貸出金-消費者ローン *4 政府等向け貸出を除く *5 社内管理上の計数。2行合算
*6 期末の利子補給一括計上の影響除き

海外貸出金

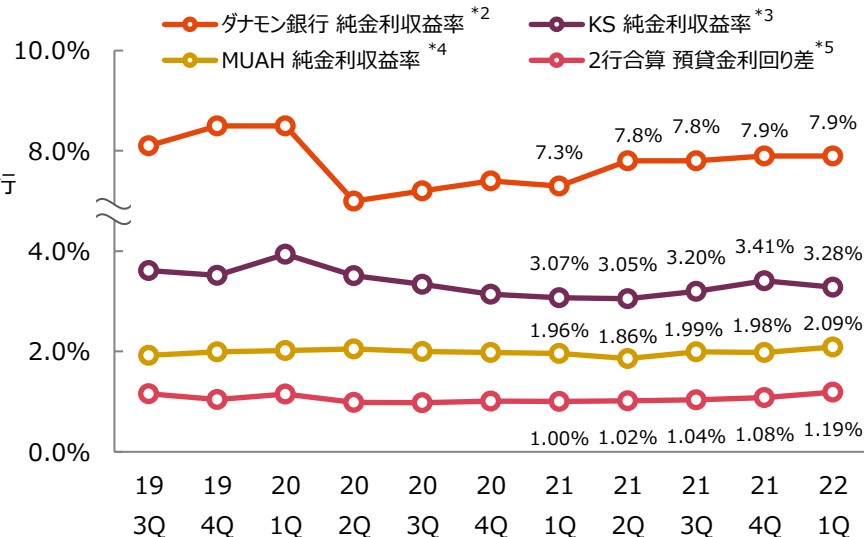
【連結・2行合算】

貸出金（未残）

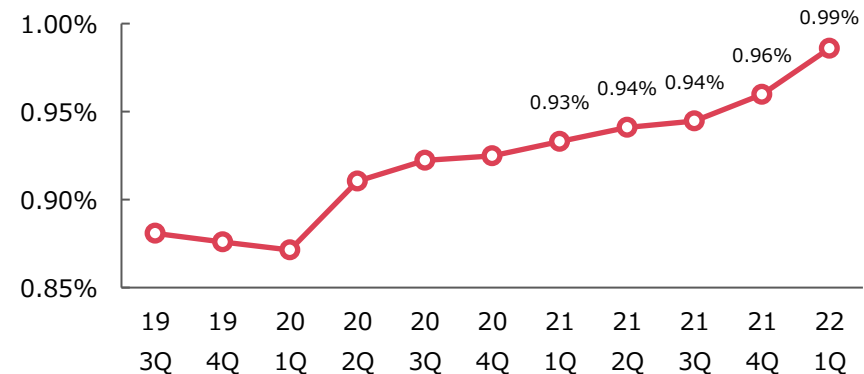
(兆円)



海外利回り等の推移



海外貸出利ざや*5



*1 特別国際金融取引勘定等

*2 インドネシア会計基準に基づくダナモン銀行の決算報告書における財務情報。21年度1Qより算出方法を変更し、本資料では過去分についても遡及修正

*3 タイ会計基準（2020年1月1日よりIFRS 9を適用開始）に基づくKSの決算報告書における財務情報

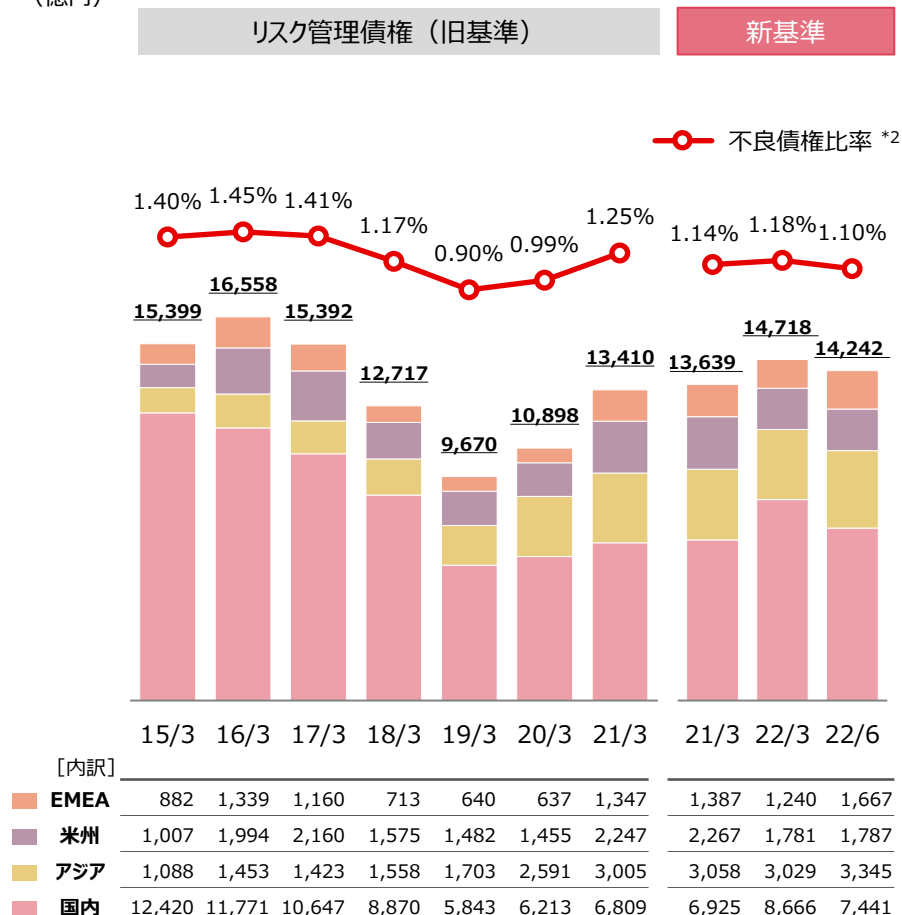
*4 米国会計基準に基づく財務情報。売却目的保有に分類された残高を含む *5 社内管理上の計数。2行合算

貸出資産の状況

【連結】

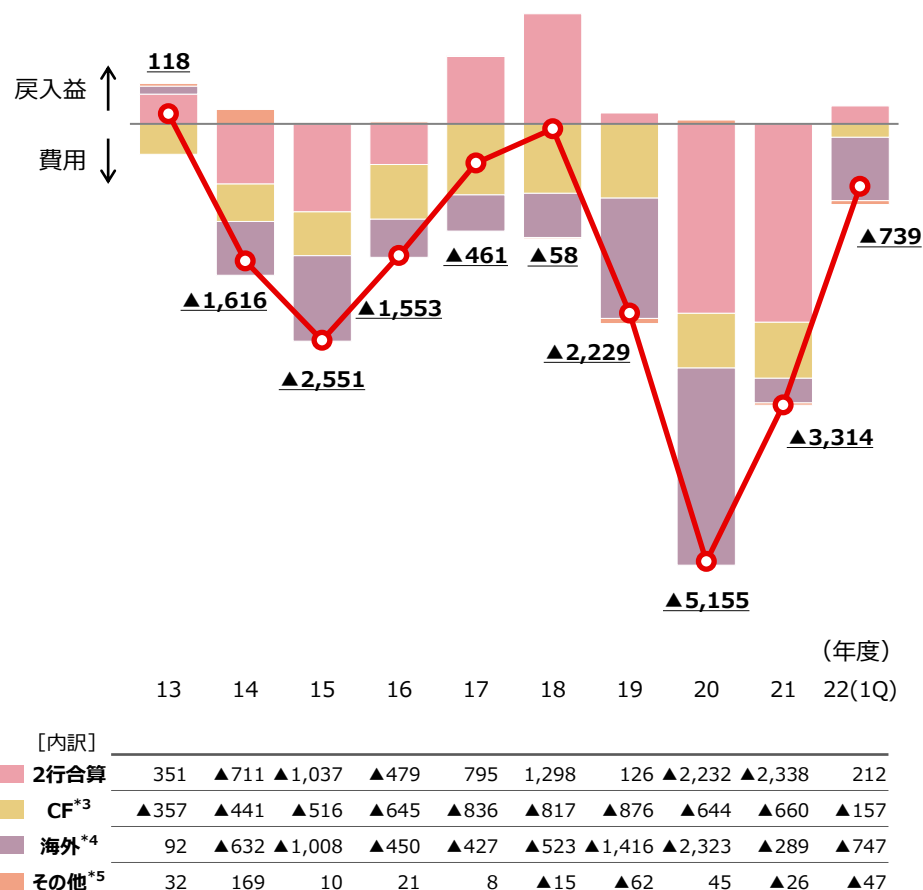
銀行法及び再生法に基づく債権（正常債権を除く）*1

(億円)



与信関係費用総額

(億円)



*1 「リスク管理債権」の定義が「金融再生法開示債権」の定義と同一となったため、銀行法及び再生法に基づく債権として開示。地域は債務者の所在地による区分

*2 銀行法及び再生法に基づく債権（正常債権を除く）残高 ÷ 銀行法及び再生法に基づく債権残高（旧基準はリスク管理債権残高 ÷ 貸出金残高（銀行勘定、未残））

*3 ニコスとアコム連結ベース合算 *4 銀行および信託の海外連結子会社の合算。子会社の決算日（2022年3月末）の財務諸表により連結している主要な在外子会社の2022年12月期第2四半期（2022年4月～6月）における与信関係費用総額は、現時点の見積もりでは、総額22百億円程度発生する見込み。当該与信関係費用総額はMUFGの2023年3月期中間連結財務諸表に反映される予定 *5 その他子会社および連結調整等

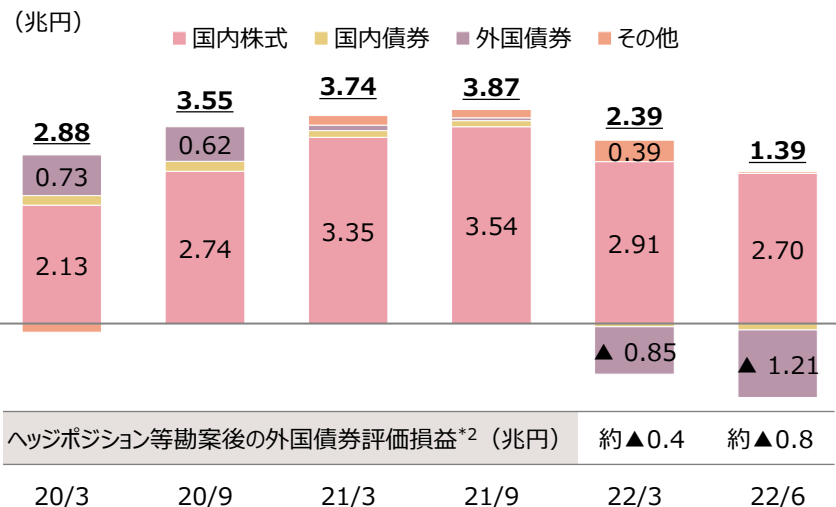
保有有価証券の状況

【連結・2行合算】

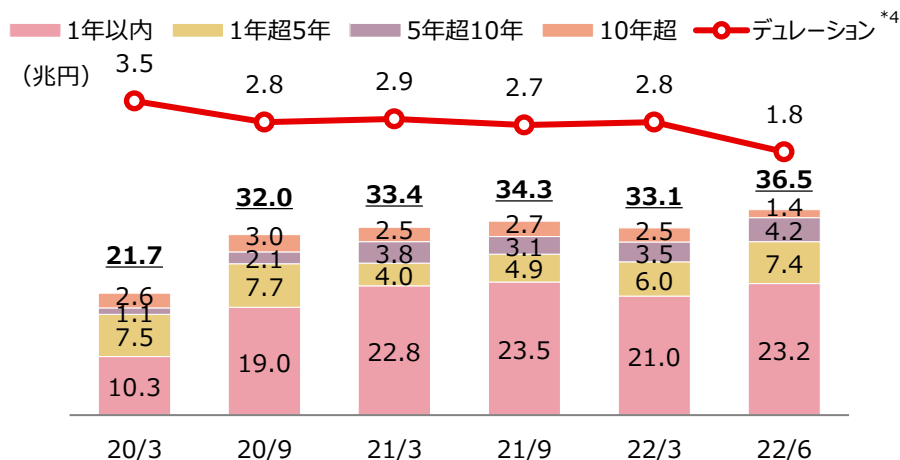
その他有価証券（時価あり）の内訳*1

(億円)	22年6月末残高		評価損益	
		22/3末比		22/3末比
1 合計	722,521	▲26,574	13,953	▲9,965
2 国内株式	43,763	▲2,373	27,006	▲2,135
3 国内債券	392,284	▲12,052	▲1,237	▲619
4 うち国債	308,972	▲5,146	▲1,012	▲458
5 その他	286,474	▲12,149	▲11,815	▲7,211
6 うち外国株式	2,019	▲166	284	6
7 うち外国債券	205,672	▲14,632	▲12,181	▲3,652
8 その他	78,781	2,649	82	▲3,564

その他有価証券評価損益の推移



国債の残存期間別残高（2行合算）*3



政策保有株式の売却実績（概数）*5

(億円)	売却額	取得原価ベース	売却損益
15-20年度合計	15,450	8,700	6,750
21年度	4,700	1,690	3,010
22年度 1Q	800	210	590
21-23年度 売却目標		5,000	
未売却の売却合意残高*6 (22/6末)	-	2,260	-

*1 評価損益は、MUB株式の譲渡契約の締結に伴い損益に反映させた額▲2,177億円を除く *2 社内管理上の計数

*3 その他有価証券および満期保有目的の国債 *4 その他有価証券。単位：年 *5 銀行・信託の単純合算 *6 23年度までの売却予定分

(ご参考) MUB保有債券等の評価損について

MUB保有資産の時価評価と会計上の取扱い

- MUB株式譲渡決定に伴うMUAH決算での低価法適用により、四半期毎にMUB保有資産の時価変動がMUFG決算に影響
- 米国金利上昇に伴い、1Q決算においてMUB保有債券等の評価損▲2,712億円*1を計上。ヘッジを実施し+168億円計上
- 22/3月末以降の金利上昇により評価損は増加しており、上期決算で更なる損失を計上する見込（ヘッジ勘案前：約▲6,300億円）
- 当該評価損のうち、① 其他有価証券の税効果相当や ② 満期保有目的の有価証券等、及び ③ 貸出金は株式譲渡実行に伴い特別利益*2として戻入となる見込み
- 戻入とならない評価損についてもヘッジ取引を行っており*3、通期親会社株主純利益への影響は▲2,000億円程度*4となる見込み
- 与信関係費用や経常利益への影響はあるものの、通期決算に与える影響（税効果勘案後約▲2,000億円）は業績目標に織込み済みであり、親会社株主純利益目標1兆円は不変

(億円)	勘定科目	1Q影響	株式譲渡	上期影響	株式譲渡	通期影響	会計上の取扱い
			実行時に戻入	(見込・概数)	実行時に戻入*5	(見込・概数)	
① 其他有価証券	その他の臨時損益	▲1,536	402	▲2,500	600		<ul style="list-style-type: none"> ■ 評価損を四半期ごとにPL計上 ■ 税効果分を株式譲渡時に特別利益計上
② 満期保有目的債券等	その他の臨時損益	▲733	733	▲1,500	1,500	特別利益と相殺	<ul style="list-style-type: none"> ■ 評価損を四半期ごとにPL計上 ■ 全額を株式譲渡時に特別利益計上
③ 貸出金	与信関係費用総額	▲442	442	▲2,300	2,300		
小計		▲2,712	1,579	▲6,300	4,400		
④ ヘッジ取引損益	その他の臨時損益	168					
MUFG決算への影響		▲2,544				▲2,000	

*1 FY22 1Qは1ドル=122.39、FY22上期は1ドル=136.68で計算 *2 評価損による売却対象資産の簿価低下等により、株式譲渡実行時に特別利益を計上する見込

*3 一部ヘッジ不可のリスクが残存するも、影響は最大±数百億円程度に留まる見込み *4 1ドル=136.68円での計算。為替レートにより変動可能性あり

*5 戻入となる金額は、現時点での見込み（概数）

ディスクレーム

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

本資料における計数・表記の定義

- 親会社株主四半期純利益 : 親会社株主に帰属する四半期純利益
- ROE (MUFG定義) :
$$\frac{\text{親会社株主四半期純利益} \times 4}{\{ (\text{期首株主資本合計} + \text{期首為替換算調整勘定}) + (\text{期末株主資本合計} + \text{期末為替換算調整勘定}) \}} \div 2$$
- 与信関係費用総額 : 与信関係費用（信託勘定） + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用（臨時損益） + 貸倒引当金戻入益 + 偶発損失引当金戻入益（与信関連） + 償却債権取立益
- 連結 : 三菱UFJフィナンシャル・グループ（連結）
- 2行合算 : 三菱UFJ銀行（単体）と三菱UFJ信託銀行（単体）の単純合算
- DS : デジタルサービス事業本部
- R&C : 法人・リテール事業本部
- JCIB : コーポレートバンキング事業本部
- GCB : グローバルコマースバンキング事業本部
- 受財 : 受託財産事業本部
- GCIB : グローバルCIB事業本部
- 市場 : 市場事業本部
- 銀行 : 三菱UFJ銀行
- 信託 : 三菱UFJ信託銀行
- 証券 : 三菱UFJ証券ホールディングス
- ニコス : 三菱UFJニコス
- MUAH : 米州MUFGホールディングス
- MUB : MUFGユニオンバンク
- KS : クルンシィ（アユタヤ銀行）
- FSI : First Sentier Investors